


プロロセントラム シグモイデス(渦鞭毛藻)

(*Prorocentrum sigmoides*)



ゆっくりと回転しながら泳ぐ

100 μm

左右対象

類似種1
プロロセントラム グラシル

◆ 細胞の軸がまっすぐ
(左右の輪郭が対象)

軸
(まっすぐ)

小さい

類似種2
プロロセントラム トリエスティナム

◆ サイズが小さい(18~22μm)
◆ 細胞の軸がわずかに弧状

軸
(やや弧状)

類似種3
プロロセントラム ミカンス

◆ 細胞の幅が広い
(長さの1/2以上)

幅広い
(長さの1/2以上)

頂刺(大きい)

左右の輪郭(非対称)

幅が狭い(長さの1/2以下)

遊泳方向

細胞の軸(ややS字状)

後端は尖る

大きさ 長さ70~75μm、幅30~40μm

形態 色は黄褐色~茶褐色。細胞は扁平で、向かい合わせに2枚の皿状の殻が合わさった形をしている。正面から見ると、槍の穂先のような形をしており、前端は丸みを帯び、後端は尖る。前端に大きな頂刺(ちょうし)と呼ばれる棘がある。頂刺の根元付近にある鞭毛孔(べんもうこう)から2本の鞭毛が伸びるが確認しづらい。細胞は縦長で、幅は長さの1/2以下である。細胞の軸はS字状にわずかに波打っており、左右の輪郭は一方が前半部でやや窪んでいるため、非対称である。類似種とは、細胞の軸の状態、細胞の輪郭、細胞のサイズ、細胞幅などで区別できる。

動き ゆっくりと回転しながら泳ぐが、動かないことも多い。

漁業への影響：魚介類には基本的に無害とされているが、赤潮に伴う海域の貧酸素化に注意が必要である。

漁業被害：三重県沿岸では、単独赤潮で漁業被害が発生した事例はない。

発生海域：伊勢湾~熊野灘沿岸

発生時期：5~10月頃